

子どもたちの思いをつなぐ「ひとつのわ会議」（4者懇話会）

▶▶ キーワード 学校運営協議会、地域活性化



取組概要

「地域とともに歩む学校づくり」を支えるために不可欠な取組。子どもの声をどう実現するかをテーマに地域学校協働本部を中心とした会議を実施。

取り組みの詳細

- 地域のもの・こと・人が関わることでよりよい教育効果を上げようと、平成29年に児童（代表委員数名）・教職員・保護者・地域住民（学校運営協議会委員を含む）が話し合う「学校づくり会議」を開始。
- 令和5年度から全5年生児童が参加する、現在の「ひとつのわ会議」へ発展。
- 毎年3学期に**児童、教職員、保護者、地域の方（学校運営協議会委員を含む）が一堂に会して、テーマについて子どもたちの意見や要望を聞き、意見交換を行う。**
- 「ひとつのわ会議」後、児童を除く3者（3者懇話会）で、**子どもたちから出てきた意見をもとに実現に向けて協議をしている。**



活動内容

- ・参加者がいくつかのグループに分かれ、テーマに沿って意見交換する。
- ・テーマは「どんな会見小学校にしたいか」「どんなことがしてみたいか」「大人に手伝ってほしいこと」などを設定し、和やかな雰囲気の中、意見交換を行っている。

（今までに子どもたちから出た意見）

「悪いことを見つけたら注意してほしい。」「楽しいことを（地域の人と）一緒にしたい。」「野球のできる環境を作ってほしい。」など

● 成果・効果

- ・「地域の人と一緒に何かしたい」という子どもや教職員が増加した。
- ・「地域の人と一緒に活動することが好き」と答える子が8割以上。
- ・毎年「会見の地域が好き」と答える子が9割以上。

● 関係者の声

- （児童）大人との話し合いを通して、良い学校にしたいと思った。
- （児童）いろんな人の話を聞いて、自分と同じ意見や違う意見が聞けてよかった。
- （地域）子どもたちからいろんな話が聞けて良かった。こういう機会を増やしたい。

● 活動データ

参加者：5年生児童、保護者、CS委員、地域住民、民生委員、教職員